

四谷地区協議会だより

No.

17

第17号

平成29年11月発行



—ぼいす—
Voice

内藤町界限

四谷区民センター

10

11

12



鉛筆の碑

水番所跡

10

11

17

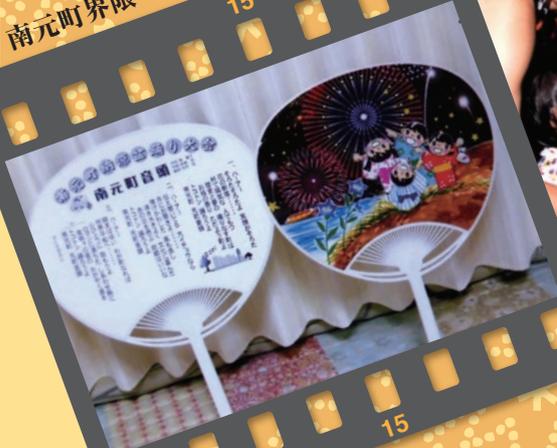
南元町界限

15

16



17



15

16

ヨヨーを入れているものは町会長手作りの品

かまども町会長の手作り!

「南元町音頭」の入ったうちわ

特集

四谷
子ども
見守り隊



詳しくは4~5ページをご覧ください

こんにちは町会長さん!...



皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。
今回は内藤町町会と南元町町会です。

Q1 地域の名物・名所、ご自慢をお教えください!

内藤町町会

当内藤町は、新宿御苑をいただく緑豊かで歴史のある町で、多武峯内藤神社は、毎年多くの参拝客を迎えております。

南元町町会

江戸時代よりの「元鮫河橋町」と「元鮫河橋南町」とが歴史の変遷と共に統合し昭和22年南元町となり、本年町会創立70周年の佳節を迎えます。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白こぼれ話を教えてください!

内藤町町会

毎年五月に行われる例大祭には、神輿・引太鼓巡行が行われ、中でもビンゴゲームの時には、境内が人で埋め尽くされる程です。

南元町町会

みなみもと町公園は桜の名所で、お花見やドラマのロケ地としても有名です。グラウンドでは野球やサッカーの試合等が活発に行われています。

Q3 その他特色などPRしてください!

内藤町町会

新宿区よりの補助金を基に、来るべき首都直下地震に備え、神社神楽殿地下の防災倉庫内に消火ポンプと共に水・食糧を備蓄したり、防災訓練を行っています。

南元町町会

昭和39年に開通した首都高速4号線の高架下では、町会行事が雨が降っても賑やかに行われます。夏の盆踊りや冬の餅つき、年末の夜警では皆で年越しそばを食べるのが恒例です。



みなみもと町公園の桜



お神輿わっしょい!

平成 29 年 4 月 20 日 第 7 期 四 谷 地 区 協 議 会 が 発 足 しま した!

37名の委員が2年間の任期で活動します。
活動の様子は広報誌「声」Voiceで
お伝えしていきます!



第 7 期 四 谷 地 区 協 議 会 全 体 会

四谷地区協議会の第7期が平成 29 年 4 月 からスタート。4 月 20 日 (木) には、四谷地域センターに全委員の過半数を超える 35 名 (委任状含む) の委員が出席し、「第6期・第7期四谷地区協議会 平成 29 年度全体会」が開催されました。議事では「平成 28 年度まちづくり活動支援補助金実績報告」や、「平成 28 年度まちづくり活動支援補助金決算・監査報告」で、四谷地区協議会のこの1年間の収支が報告されたあと、第7期の会長、役員、会計を選出。「平成 29 年度まちづくり活動計画・予算(案)」が審議されました。第6期から引き続き会長には松川英夫委員が就任し、その後各分科会に分かれて29年度の活動計画などが話し合われました。

第一分科会

地域防災 ～避難場所や避難所の 表示について



「地域防災」は、第一分科会の今年のテーマのひとつ。新宿区からの防災関連のハンドブックや防災専門家を招いて勉強会をおこなったほか、災害が起こったときに、とっさの移動ができるよう、地域の「避難所」「避難場所」を、もっとわかりやすく案内できないかというテーマで意見交換をおこなっています。

これには例えば、地域の人がいっしょでも目に見えるよう「町会の掲示板にラミネート加工した避難所の地図を貼ってもらう」「街路灯に貼ってはどうか」「電柱にあるごみ収集の案内プレートと同様に設置できないか」など、多くの意見が出されています。意見がまとまったところで、実現に向けて活動していきたいと思っています。



いろいろ鮮やかな
「内藤八房の七色唐がらし」

2010年から江戸内藤新宿の名物であった内藤八房とうがらしを再び四谷名物にと活動を続けて早8年。当協議会が毎年内藤とうがらし苗1000株の地域頒布を行い、3000名以上の方が店前や家前のプランターで育てて、夏、天に向かう赤い莢の束と葉の緑のコントラストは四谷の風物詩となりました。

街中では、収穫したとうがらしの野菜、調味料としての利用も進み、食の風物詩ともなっています。8年前当時から、江戸から伝わる薬研堀の七色唐がらしの売り口上の「江戸内藤新宿八房の焼きとうがらし」を再現しようと、「内藤八房の七色唐がらし」が有志によつ

て作られています。今秋は、この七色を透明摺り器に入れて七つのタネが混ざる前の姿を見せる新企画が公開されています。
江戸っ子は七味と言わず七色と呼ぶ。調合する七つのタネの鮮度を見て買い求めた為、既に混ぜられている七味とは違い鮮度保証ということです。

第三分科会

四谷名物 「内藤とうがらし」 復活プロジェクト

第二分科会

子どもの見守り あいさつ

子ども 四谷 見守り隊



目印のワッペン

地区協議会第二分科会では、小中学校の登下校時、街に立って道行く人にあいさつの声をかける「四谷子ども見守り隊」の活動を続けています。「おはようございます」「行ってらっしゃい」。そんな声が行き交う、活動の現場におじゃましました。

「わをきつねざるのアイくん」をあしらったこのバッジ、見たことはありませんか？

これは、誰にでも積極的にあいさつができるようになる魔法のバッジ。「四谷子ども見守り隊」に登録しているメンバーの印です。

小中学校の登下校時刻に街に立ち、子どもたちに声をかけることで、安全を見守る。そんな地域連携を目的に、地区協議会の第二分科会が中心になってスタートさせた活動で、今では約80人が隊員に登録しています。

現在、活動がおこなわれているのは、四谷小学校、四谷第六小学校、花園小学校、四谷中学校の4校周辺と信濃町駅、と新宿5丁目の飲食店「玄海」周辺の計6カ所。第一月曜日、第二月曜日の統一活動日などに、このバッジをつけた隊員が、声かけ活動をおこなっています。

そのひとつ、新宿5丁目周辺の活動におじゃましました。月2回の統一活動日だったこの日、参加した隊員は6名。新宿園町会の有志と、第二分科会のメンバーが、朝7時50分から8時20分まで、大勢の人が行き交う歩道で、笑顔であいさつを投げかけました。

「おはようございます」

「おごぶん背が伸びたのね」

「気をつけて行ってらっしゃい」



通勤する人にも笑顔であいさつ



ワッペンをつけてあいさつ



のぼりが目印



あいさつフェスタに参加

そんなメンバーのかけ声に、通学の子供たちや学生、通勤の人たちも、笑顔であいさつを返していました。

活動開始からまもなく10年。子どもの数はますます減り、集団登校の光景もあまり見かけなくなりました。

「とはいえこの場所は近くに高校もあり、通勤の人も多い。月に何度かでもこうしてここで声をかけていると、だんだん顔を覚えてくれて、向こうから挨拶をしてくれることも増えました」

この場所での「四谷子ども見守り隊」の活動を続けてきた第二分科会の吉川ゆり子さんはそう話します。子供だけでなく、近隣のオフィスに通う人たちとも「あいさつ」を通して顔見知りになったことをきっかけに、

「町会でおこなう道路のごみ拾いを、近隣の会社から手伝いに来てくれたこともあります。住んでいる人と働いている人とのコミュニケーションという側面も大きいですね」

またこの場所での「四谷子ども見守り隊」の活動には、新宿区の危機管理課の職員も参加。子どもたち、そして街の安全の見守りがおこなわれました。地域を見守ることは安心安全なまちづくりにもつながります。そんな「四谷子ども見守り隊」の活動に、これからもご期待ください。

四谷子ども見守り隊 大募集!

『おはよう!!』小中学生の登下校時刻に町へ出て、声をかけ子どもたちの安全を見守りましょう! あいさつが繋ぐ地域力連携を深めましょう!

月1回の統一活動日には、集合場所に集合して小中学生にあいさつと見守りをおこないます。その他、各自ができる範囲で登下校時に町へ出て見守りバッジを携帯してあいさつと見守りをしてください。

- 集合場所**
- 四谷小学校校門 (四谷2丁目)
 - 四谷第六小学校校門 (大京町)
 - 花園小学校校門 (新宿1丁目)
 - 四谷中学校校門 (四谷1丁目)
 - 信濃町駅周辺 (信濃町)
 - 「水たき玄海 本店」前交差点 (新宿5丁目)

お問合せ 四谷特別出張所内 四谷地区協議会事務局 電話 03-3354-6171



地域のイベントで訪れた
四谷地域センター。
私も部屋を利用できますか？

声

四谷区民センター内にある「四谷地域センター」は、昨年創立20周年を迎えました。地域の活動やイベントなどで訪れたことのある人も多いでしょう。今回はその「四谷地域センター」について、同センター事務局にうかがいました。



11階にある事務局

Q1

地域センターとは
どのような施設ですか？

A

地域の方々のコミュニティ活動や町会・自治会その他各団体の活動、文化・スポーツなどの交流の場として、ご利用して頂けるように設置されている施設です。新宿区内に全10ヶ所あり、四

Q3

どのような人達が
運営をしていますか？

A

町会、民生児童委員、PTAなど、地域活動団体から推薦された委員と公募の委員によって構成された組織「四谷地域センター運営委員会」がボランティアで運営やイベントの企画活動に携わっています。

Q2

四谷地域センターでは、どのよ
うな部屋を利用できますか？

A

いろいろなタイプの部屋があります。定員100人の多目的ホールから会議等で使用する集会室、調理工作室や音楽室、さらに和室や本格的な茶室もあります。又通常ご利用頂く部屋とは別に未就学児が遊べるプレイルームがあります。

Q4

施設を利用したり、
イベントに参加するには…？

A

部屋を利用する場合の予約申請は二種類あり、「コミュニティ登録団体」の予約申請と「一般利用」の予約申請です。空室状況はインターネットで閲覧でき、登録団体・一般のいずれもネット登録をすると新宿区の全域センターの施設をインターネットで予約することが可能です。

四谷地域センター運営委員会主催で行われるイベントは、1階ロビーで開かれる「サロンコンサート」、各部屋を使用した「手作り作品講習会」「料理講習会」「映画上映会（芸術サロン）」など、このほか「三大祭り」として「文化祭」「四谷音楽祭」



年数回開かれているサロンコンサート



手作り作品講習会も人気です



コミュニティ誌「四谷」

「ふれあい祭り」を開催して多くの皆様に自由に参加頂いています。ほとんどは無料ですが、中には申し込みと若干の費用が必要なイベントもあります。運営委員会で発行するコミュニティ誌「四谷」などご覧頂き皆さんが楽しめる「何か」を見つけて下さい。

(お問合せ)
四谷地域センター運営委員会事務局
☎ 03-3351-3314

事務局長が
代わりました



この四月に、四谷地域センター運営委員会事務局長に就任いたしました榎本実です。

どうぞよろしく願います。

新宿区役所に約40年勤務し、その大半は教育委員会にいたので、一時期はこの四谷庁舎に通勤していましたが、当時から四谷地域は地域の人々に主体的な活動が活発だという印象を持っていました。こうして、地域センター事務局に勤務し半年が過ぎ、その思いは強くなる一方です。

地域センターは、四谷地域全域のコミュニティ活動の拠点となるべく設立されたわけですが、その機能を充実・発展させるためには、地域全体の皆様の協力が不可欠です。私自身もプライベートでも育成会活動をはじめ地域のさまざまな活動にも参加させていたのだと思います。これからの協力を賜りますようお願い申し上げます。

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介します～



10回目となった今年3月の発表会には、17点のお宝が公募で集まりました。そのなかから今回は、「町の消えゆくお宝」2点を紹介します。

ひとつは「四谷の歴史記録賞」を受賞した「町名プレート」です。四谷の会社に勤めている出品者の方は「町歩き」が趣味。昔の古い町名プレートの愛好家でもあります。

「ホーローではなく塗り板のため、錆びたり、色あせているものも多い。またそこが味になっていますね。ただし、新規で貼られることはないため、朽ちたものから撤去され、どんどん数が減っています」

そんななか、いくつか四谷にも残っている町名プレートを写真に撮って「四谷のお宝」として出品していただきました。

もうひとつは、同じく「四谷の歴史記録賞」を受賞した「四谷第三小学校の表札」です。廃校になっていた四谷第三小学校は平成28年、四谷駅前開発事業にともなって校舎が解体されました。この表札は、工事が始まってから、裏門に「ぼつんと」かかっていたものを、出品者である卒業生が発見。町会役員や様々な人に頼んで、解体業者から回収してもらったそうです。

「名実ともなくなってしまうダイサン。その母校が存在した証として、私にとってはかけがいのないお宝です」(出品者)

◆平成29年度発表会

次回、「四谷のお宝さがし」発表会は、平成30年3月3日(土)に決定！
地域センターの多目的ホールにて開催します。



町名プレート



四谷第三小学校の表札

四谷まち歩き 特選



内藤新宿 内藤屋敷が新宿の始まり

鷹狩の際に、家康から「馬で乗り回した土地を全て与える」と言われた腹臣内藤清成は、当時は多くが野原であった(現在の)四谷新宿界隈を白馬で一気に駆け巡り千駄ヶ谷から大久保あたりまでの広大な土地を拝領しました。白馬は家康の元へ駆け戻った直後に息絶えた、という駿馬伝説です。新宿区内藤町の多武峯内藤神社には、この伝説による「駿馬塚の碑」が残っています。

のちに、内藤屋敷の一部を譲り受け甲州街道最初の宿場町、内藤新宿が開設され、戦後四谷区牛込区淀橋区の3区合併により、内藤新宿の新宿を冠した新宿区が成立しました。



神馬殿



四谷寺町

寛永11年(1634年)、113の大家を動員して江戸城西北に外堀を設置することになりました。その工事は「天下普請」と呼ばれ、その際立ち退きを余儀なくされた麹町地区の寺社群が四谷地区に移転しはじめました。須賀町・若葉二丁目や甲州街道を挟んで舟町・愛住町(かつての寺町・南寺町と北寺町)一帯に寺院が多く見られるのはこの集団移転によるものです。寺院の移転により、四谷地区の様相は一変しました。寺院の周辺には門前町屋が軒を並べ、商人職人の活動が栄えました。

甲州街道は江戸城陥落の場合を考え、将軍が甲府城へ逃れる退路とされています。四谷の古地図に多く見られる御先手組、御持組、伊賀町などはその際の手勢となるものでもありました。寺社地墓地は市街戦が発生した際の防衛線として、放火延焼防止、墓石は鉄砲弓の盾にと考えられ、多くの寺社の後方は崖になっています。多方向からの攻撃を封じる仕掛けがあったといわれています。



四谷牛頭天王社(「江戸名所図会」に描かれた現須賀神社周辺の様子)

今後の「まち歩き」の予定

※概ね1ヶ月前より広報しんじゅく、地域掲示板等でお知らせします

四谷地域の文化施設を巡る Part.1 ~文学座、民音音楽博物館、聖徳記念絵画館~	平成29年 7月15日(土)	広報しんじゅく 6/25号掲載予定
四谷地域の文化施設を巡る Part.2 ~消防博物館、荒木町、新宿歴史博物館~	9月16日(土)	広報しんじゅく 8/25号掲載予定
内藤新宿まち歩き ~宿場町・内藤新宿の風情を訪ねて~	11月18日(土)	広報しんじゅく 10/25号掲載
信濃町駅界隈散策と神宮外苑いちょうまつり ~美しい秋の風景を探して~	12月2日(土)	広報しんじゅく 11/15号掲載予定
南寺町を訪ねて ~四谷ゆかりの歴史上の人物を巡る~	平成30年 3月17日(土)	広報しんじゅく 2/25号掲載予定
外堀の桜鑑賞と四谷見附界隈を歩く ~外堀の桜を体感~	3月31日(土)	広報しんじゅく 3/5号掲載予定
甲州街道界隈まち歩きと新宿歴史博物館 ~四谷今昔物語~	5月19日(土)	広報しんじゅく 4/25号掲載予定

※参加申込みは、各回広報しんじゅく【掲載日の2日後】から受付開始(土・日、祝日を除く)

編集・発行

四谷地区協議会【事務局】

(四谷特別出張所内)

〒160-8581 新宿区内藤町87番地
電話 3354-6171 FAX. 3350-9403
E-mail: yotsuya@city.shinjuku.lg.jp

編集後記

◆特集の「四谷子ども見守り隊」は、ワッペンをつけた見守り隊員が管内6ヶ所で朝の登校時間に子どもたちに声掛けをしています。少子化などの影響で課題を抱えながらの活動です◆「四谷お宝さがし」は、今年10周年を迎え記念誌を発行しました。家の隅やタンスの中、引出しの奥に眠っていたあなたの宝物が、記念誌の1ページを飾っています。ぜひご覧ください◆来年度から「まちづくり活動支援補助金」の制度が変わります。事業継続にも影響が出そうです。

広報リーダー 野澤秀雄

次号は平成29年3月発行予定です。